

私たちはご利用者の生活を支援するために24時間がんばります！

ローゼン Rosen だより

2022年 10月号

＜発行元＞

社会福祉法人千葉県福祉援護会

〒273-0047

千葉県船橋市藤原 8-17-2

(ホムパ-ジ)

<https://engokai.or.jp/>

(メール)

info@engokai.or.jp

『地域共生社会の実現に向けて』

～2年10ヵ月ぶりに・・・運営協議会 再始動！～

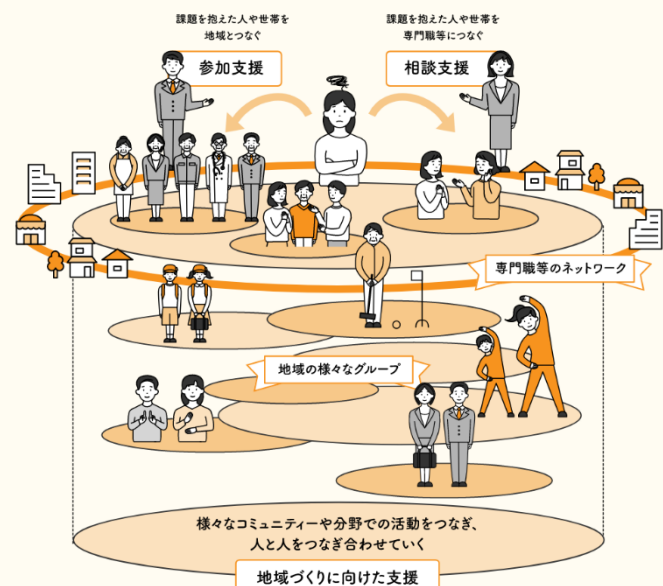
(報告：地域福祉推進委員会 中澤信人)

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、令和元年九月に開催して以来、延期しておりました運営協議会を七月に開催致しました。運営協議会は、当法人が運営する施設・事業所が、地域における社会資源としての機能を一層高めてゆくことを前提として、施設等を利用する方の『利便向上』『地域活動の活性化』『地域課題への対応協力』などに資することを目的として設置されており、当法人の職員に加えて、自治会・町内会会長や民生委員・児童委員を経験された方、ボランティア活動者、老人会や障害者などの当事者団体において活動されている方などにご参加頂いております。この度の運営協議会は、前回の会議で決定した通り、地域における課題やニーズの違いなどを考慮して、船橋と千葉のエリアに分けて開催致しました。冒頭に理事長の木村からコロナ禍における各事業所の運営状況や感染防止対策についてご報告させて頂き、地域共生社会の実現に向けた第二次中期経営計画（三か年計画）における法人のミッションである「人と人が織り成す新たな価値の創造」に向けて取り組むことを委員の皆様にご説明させて頂きました。約二年十ヵ月ぶりに開催された運営協議会では、コロナ禍における地域の福祉活動や高齢者・障害者の現状、ボランティア団体や学生ボランティアなどの活動状況、台風被害や災害時の対応、地域社会の繋がりや地域に対する関心の希薄化、EPA（経済連携協定）介護福祉士候補者・留学生などの外国人介護職員について等々多岐にわたる話題で情報・意見交換が図られました。また、地域の中学生の心温まるエピソード（困っていた高齢者を助ける行動）

から福祉教育の重要性を再認識する機会となりました。この度の会議では、ボランティア活動の場が減少している課題に対して、新型コロナウイルス感染症に対する感染防止対策・拡大防止対策を実施して、課題解決に努めていくこと、中学生に対する『車椅子操作訓練（講習）』を社会福祉協議会と連携して再開していくことを確認致しました。

委員の皆様方には、貴重な情報やご意見を頂き、誠に感謝しております。今後とも地域共生社会の実現に向けて多様化・複雑化する福祉需要を予見し、課題解決に繋げていくとともに地域にお住まいの皆様方のご意見等を法人運営に反映させて頂きたいと考えております。

市町村全体がチームになり、3つの支援を一体的に実現する



【 障害介護／就労等部門事業所のご紹介 】

障害介護／就労等部門では、ご利用者やご家族、地域の福祉ニーズに応えられるよう船橋市内で福祉サービス事業を展開しています。今回は、各事業所のサービス内容や取り組み、特徴などについてご紹介します。

【障害者支援施設 誠光園】

開設／昭和 61 年 5 月

事業内容／施設入所、短期入所、日中一時支援、通所生活介護、
相談支援事業、
船橋市指定管理「福祉ホーム若葉」の管理運営

その人らしさを大切に生活スタイルの異なるユニットごとに日中活動や季節行事などの活動を行っています。現在はコロナ禍で難しい状況ですが、毎日たくさんのボランティアの方々から活動いただき、園内はご入居者の元気な声と笑い声がいっぱい響き渡る明るくアットホームな施設です。



【障害者支援施設 ローゼンヴィラ藤原】

開設／平成 10 年 4 月

事業内容／施設入所、短期入所、日中一時支援、通所生活介護、
障害児通所支援事業、相談支援事業

ご利用者の日常生活のサポートを行うと共に、お一人おひとりの考えや想いに寄り添い、希望に沿った生活ができるよう日々ご利用者の支援を行なっています。施設で生活する全ての方が、笑顔で生活出来るように取り組んでいます。



【障害者通所施設 オーヴェル】

開設／平成 10 年 7 月

事業内容／就労継続支援 B 型、通所生活介護

就労継続支援 B 型は、パン・焼き菓子の製造、食品表示シール貼りつけや袋詰め、販売等の作業を行っています。生活介護は、生活リハビリとしてお一人おひとりのニーズに沿った個別リハビリや多彩なアクティビティの中からご自身に合った活動を選択していただく日中活動を行っています。“オールオーヴェル”を合言葉に職員が一丸となり、“働く喜びを実感したい” “充実した毎日を過ごしたい” を支援しています。



【障害者通所施設 アトリエ プレジュー】

開設／平成 27 年 4 月

事業内容／通所生活介護、日中一時支援

生活介護は、「Lego's」「Rody's」の 2 つのグループに分かれ、利用者の特性に合わせ活動に参加いただいております。「Lego's グループ」では、さをり織り・マープリング・創作活動・レクリエーションを。「Rody's グループ」では、創作活動・園芸活動・レクリエーションの活動を行っています。他にも 2 つのグループが融合して Summer フェス、クリスマスパーティー、成人のお祝いなどの「施設イベント」も行っています。



【 笑顔のためにできること 】

新型コロナウイルス感染症第7波もやや落ち着きを取り戻しつつありますが、福祉施設等においては過去最多のクラスター数を更新しています。

新型コロナウイルス感染症が蔓延し、マスク着用、黙食等が当たり前の日常となり3年が経過する中、新型コロナウイルスについても色々と解明されてきました。当法人高齢事業においては、入居施設は公的施設である（特養）、（軽費老人ホーム）、管轄省庁が違う（サービス付き高齢者施設）、通所事業（デイサービス）と、体系の違う施設・事業所にてそれぞれに工夫をこらしコロナ禍の「高齢者の生活」の維持・継続に取り組んできました。これまで地域の拠点施設を目指し地域行事、近隣小中学校・高校と交流会、ボランティア受入において積極的に取り組んできましたが、コロナ禍にて地域住民、教育の現場、ボランティアの方々との関わりに大きな影響を受けました。この様な中、感染予防策を取りつつ思うように外出が出来ない状況下ご入居者・ご利用者の方々に楽しんでいただける行事等を模索していた所、現在、ご家族様面会や職員研修・会議等においてもオンラインでの対応をしており、そこにヒントを受けオンラインを活用した「オンライン初詣」を企画しました。近隣の神社に職員が出向きコメントを交え参道から社殿内、お賽銭を入れる所までを撮影し映像をスクリーンに映し出し臨場感を味わっていただけるように場所を変え、仮の鳥居、賽銭箱を準備し無事オンライン初詣を終える事が出来ました。また、プラレールを使った「回転ずし」、船橋二和高校美術部との交流においても生徒さんとの直接的な関わりはありませんでしたが「夏の手作りハガキ」・「秋のハロウィンメッセージ」と季節のメッセージカードや生徒さんの絵画作品の展示を継続していただき、施設の廊下が「小さな美術館」に変わりご入居者、職員への気分転換の場となっています。

先の見えない感染症状況ではありますが、少しの工夫で物事の感じ方、見え方が変わる事を改めて実感した行事取り組みでした。これからは、コロナ感染症と共存しながら地域行事参加のあり方、ボランティアの方々との新たな関係性の再構築に努め地域の拠点施設とし地域共生社会の実現に取り組んでいきます。



ローゼンヴィラ藤原の皆様 お元気ですか。
新しい歳が始まります。美術部の1年生〜3年生で、夏の絵展覧会を行いました。
コロナのために直接お会いできませんが、この機会ですこそも稽古をやり切っ
た自分たちを感じています。
早くコロナが終息して、皆様にお会いできる日をお待ちしています。
令和4年6月8日
千葉県立船橋二和高等学校 美術部一
顧問 宮澤 志功



美術室には準備がないので、暑いですが頑張っています。



お元気ですか！

七夕飾りを作りました。



【 With コロナ時代の保育を模索して 】

2020年に新型コロナウイルスの世界的大流行が始まってから約2年半、保育の現場でも一時的な休園や活動自粛など様々な制約を強いられたことで、多くのことを考えさせられた日々でありました。一進一退に思えるコロナの感染状況の中で、もはやコロナの収束を待つのではなく、With コロナ時代の新しい保育を模索して、どのように取り組んでいくかが今後の課題だと感じています。

両保育園では、先日夏祭りを開催しました。感染対策を徹底した上で、年長児を中心に全園児でお祭りごっこを楽しみ、ご利用者の皆様に大変喜んで頂きました。

今年度は夏祭りに限らず、コロナの影響で縮小開催や中止となっていた行事を少しずつ再開し、保護者の方や地域の方に安心かつ安全に参加して頂けるようにしていきたいと考えております。感染対策と保育のねらいを両立させるためにあれこれ工夫を凝らし、試行錯誤する中で、職員間でも話し合いの時間が増えました。コロナの出現は私たちに様々な影響を与え、不便や不自由を感じることも多々ございますが、一方で、これまで当たり前のようにやってきたことが最善なのか、本当に大事にしなければならないことは何かを真剣に考える貴重な機会を与えられたと思っています。職員同士、コロナ禍を経験したからこそ生まれた結束力のようなものも感じています。

コロナ以前の固定概念を捨て、発想を変える良いチャンスと捉えて、元に戻るのではなく状況を見極めて保育を進化させていきながら、With コロナ時代を乗り切っていきたいと思っております。



令和3年度分 苦情解決状況の公表 (第三者委員の介入があった苦情の実績)

	(事業所名)	(内容・種別)	(発生日)	(解決日)
①	※令和3年度は、第三者委員が介入した苦情はございません。			

令和3・4年度 ご寄付・ご祝儀一覧

令和4年3月1日～令和4年8月31日に法人各施設にご寄付及びご祝儀をいただきました皆様です。ありがとうございました。
※事前にご承諾いただきました方のお名前を掲載させていただいております。ご寄付いただきました全ての皆様に御礼申し上げます。

ご寄附	ご祝儀	ご寄贈	協賛品ご提供				
島田 易子 様							

(順 不 同)

